

委員会の焦点

～委員会審査報告から～

温泉開発の可能性は

産業建設委員会

産業建設委員会に付託された議案は、決算案件5件、条例案件3件、事件案件1件、予算案件4件で、いずれも原案のとおり認定及び可決すべきものと決しました。平成26年度一般会計決算認定の審査の中で、熱利用調



片丘地区内での実施された源泉についての地質調査

査委託料の内、地質調査業務委託料の内容と成果について質問があり、地元をはじめとして、要望の強い温泉施設についての可能性を探るため、電磁探査による温泉掘削の可能性について調査を行い、温泉開発の可能性が高いとの結論を得た、民間が主体となる活用法を探っていきたいとの答弁がありました。他にも、

しおじり街元気カンパニーの経営状況について事業報告書及び決算報告書の提出と説明を求め、同時に今後の事業運営について質しました。さらに、塩尻駅西口の区画整理事業に関して、随意契約をおこなったコンサルタントの概要がわからないため、資料の提出と、具体的な説明を求めました。

市施設の無償譲渡と 条例廃止

福祉教育委員会

福祉教育委員会に付託された議案は、平成26年度一般会計および3つの特別会計の決算認定、条例案件3件、指定管理者の指定3件、財産の無償譲渡2件、補正予算案件2件で、いずれも全員一致で認定及び可決すべき

ものと決しました。障害者福祉センター条例、障害者就労支援施設条例を廃止する条例案は、広丘野村にある当該施設を塩尻市社会福祉協議会に無償譲渡することに関連するものです。障害者施設の充実を図り、効果的、効率的な管理運営を確保し、障がい者の福祉向上に資するという説明がありました。

改修費用負担や指定管理料がなくなると、受ける側の採算は取れるのかとの質問に、現在も収益があり、自主事業が増えて障がい者の利用増が見込まれ、社協側も了解しているとの回答がありました。また、教育関係の請願1件を採択すべきもの、更に陳情1件を採択と決しました。



障害者就労支援施設 そよ風の家

より堅実で有効な 財政運営を

総務生活委員会

総務生活委員会に付託された議案は、所管する会計の平成26年度決算認定をはじめ、条例案件2件、事件案件1件、予算案件4件で、原案のとおり認定及び可決すべきものと決しました。また、6月定例会

から継続審査となっていた安保関連法案関係の請願、陳情各一件はいずれも不採択となりました。これらの中で、平成26年度の一般会計決算の状況は、歳入総額294億円余に対し歳出総額は28億円余となり、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は、約6億5千万円の黒字となったことが



分厚い決算書

説明されました。こうしたことにより、市の「貯金」とも言える財政調整基金は、38億円余で過去最高となりました。しかしながら、今後、新体育館建設など多くの事業が予定されています。厳しい財政状況の中で一層堅実な財政運営はもちろん、より有効な予算配分や基金の活用が求められます。